

2021年7月4日 午前礼拝 説教:大木英雄牧師
「ペテロの足なえの癒し」

使徒 3:1~10

- 3:1** ペテロとヨハネは午後三時の祈りの時間に宮に上って行った。
3:2 すると、生まれつき足のきかない男が運ばれて来た。この男は、宮にはいる人たちから施しを求めるために、毎日「美しい門」という名の宮の門に置いてもらっていた。
3:3 彼は、ペテロとヨハネが宮にはいるのを見て、施しを求めた。
3:4 ペテロは、ヨハネとともに、その男を見つめて、「私たちを見なさい。」と言った。
3:5 男は何かもらえると思って、ふたりに目を注いだ。
3:6 すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい。」と言って、
3:7 彼の右手を取って立たせた。するとたちまち、彼の足とくるぶしが強くなり、
3:8 おどりが上がってまっすぐに立ち、歩きだした。そして歩いたり、はねたりしながら、神を賛美しつつ、ふたりといっしょに宮にはいって行った。
3:9 人々はみな、彼が歩きながら、神を賛美しているのを見た。
3:10 そして、これが、施しを求めるために宮の「美しい門」にすわっていた男だとわかったと、この人の身に起こったことに驚き、あきれた。

(A) ペテロとヨハネは午後3時に宮で祈っていた

ユダヤ人たちは、一般的に1日に3回、午前9時、午後3時、そして日が沈むころ時間を定めて祈ることで、1日中神様のことを考えていました。朝祈ることは比較的優しいことです。夕方すべての仕事を終えて祈る事も、それほど難しいことではありません。しかし仕事中である午後3時に祈ることは簡単なことではありません。午後3時に祈るということは、彼らの考えの中に常に神様がいたということを示しています。

恋愛中の人は、仕事をするときも、ご飯を食べる時も、道を歩く時も、いつも恋人のことを考えています。同じように、私達が本当に神様のことを愛しているなら、どんな仕事をして、どんなものを見ても、どんな場所に行っても、神様のことを考えているはずです。そして自分でも気が付かないうちに、神様に話しかけている自分を見出すので、ペテロとヨハネはそうでした。彼らは1日中神様のことを考えていました。

(B) 毎日「美しい門」のところで施しを求めていた足なえ

皆様、自分が足なえで毎日「美しい門」のところで施しを求めなければならぬとしたら、どう思いますか。当時は福祉もありません。親切な人の施しを頼りに生きていかなければならぬとしたらどう思いますか。家には寝るところとお風呂と食事はあったと思います。足のきかない人がお風呂に入るときは大変です。両腕で体を支えなければお風呂に入れません。この足なえが生きていくためには施しを求めるしか方法がないのです。しかも彼は40年間このような生活をしていたのです。彼は何を希望に生きていたのでしょうか。

(C)ペテロが足なえを癒す

実は神様がその足なえを癒されたのです。ペテロは毎日「美しの門」を通過して宮に祈りに行っていました。ペテロがこの足なえと会ったのは今日が初めてではありません。毎日会っていたのです。どうしてペテロはこの日に足なえを癒そうと思ったのですか。

ヨハネ 14:26, しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。

この日に聖霊様がペテロに足なえを癒すように教えたのです。ジョージ・ミユラーが祈りだけで 3000 人の孤児を養った秘訣は

①御心を求める時、私はまず自分の心が全く意志を持たないような状態になることを求める。多くの人にとって、トラブルの 9/10 はまさにここにある。主のみ心がどこにあり、私達の心がそれに従う備えをするなら、困難の 9/10 は克服されているのです。このような状態にあるなら、主のみ心がなんであるかを知る一歩手前にいるのです。

私達は何かを決める時ほとんど自分の意志で決めます。しかしうまく行かないことが多くあります。私が滝山教会を退任したとき、役員会に出ることも、伝導委員会に出ることも、すべてストップされました。私は今から考えるとそれが良かったと思います。滝山教会を退任してからも私は伝道をしたかったのです。所沢で開拓伝道をしたかったのですが、滝山教会から近すぎるということでストップされました。青年フェロシップキャンプで、キング先生から

ザヤ書 6:8, 私は、「だれを遣わそう。だれが、われわれのために行くだろう。」とっておられる主の声を聞いたので、言った。「ここに、私がおります。私を遣わしてください。」

このみ言葉が与えられました。つぎに滝山教会の高木兄弟のメッセージから

使徒 16:9, ある夜、パウロは幻を見た。ひとりのマケドニア人が彼の前に立って、「マケドニアに渡って来て、私たちを助けてください。」と懇願するのであった。

そんな時高田先生から葛西教会に来て助けてください、と電話がかかってきました。これで主のみ心と確信しました。

②その後、私はその結果を感情あるいはぼんやりした考えにゆだねない。もしそうするのなら、大きな思い違いをすることになりやすいのです。

③神のみ言葉である聖書を通して、あるいは御言葉と関連して、聖霊の御思いを求める。

御霊と御言葉は結び付けられなければならない。もしみ言葉なしに御霊のみを見るなら、大きな間違いを犯すことになる。聖霊は聖書に従って導くのであって、決して聖書に反してなされることはない。

④次に私は神の導かれる出来事を考慮に入れる。それはみ言葉と御霊の関連において、神のみ心をはっきりと指し示していることがしばしばです。

⑤祈りのうちに、神ご自身の御心を正しく示していただくことを求める。

⑥このように神への祈り、み言葉の学び、黙想を通して、自分の能力と知識を最大限に用いて、慎重は判断に到達する。そして心に平安があり、さらに2,3度嘆願して後もそれが続くなら、その判断に従って行動する。些細な事柄においても、重要な問題においても、私はこの方法が有効であることを知らされている。

ペテロの方法とジョージ・ミュラーの方法は違うと思いますが、人格的には聖霊の臨在を経験していたことは間違いありません。それはペテロは毎日朝の9時、午後3時、夕方と、1日3回も祈っていたからです。

(D)ペテロはイエス・キリストの權威によつていやした

使徒 3:6, すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によつて、歩きなさい。」と云つて、

私はイエス様はすでに召天されているのにどうして、足なえを癒す權威があるのかとずっとわからずにいましたが聖霊様が教えてくださいました。

マタイ 28:18, イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの權威が与えられています。

これはイエス様が召天される前に言われた言葉ですが、昇天された後も、天においても地においても一切の權威が与えられているのです。

皆様イエス様が今も天においても地においても一切の權威を持っておられると信じていますか。ラージャス先生が、イエス様は天においても地においても一切の權威が与えられています、と声を大きくして叫ばれていたことを思い出します。

私は初めて聞いた時、日本人は誰もイエス様の權威を信じていないのにと感じて聞いていましたが、ラージャス先生が何回も何回も大きな声で言われるのを聞いていると、本当にそうだと思えてきました。日本人が誰も信じていなくても、神様が言われるのです。イエス様は天においても地においても一切の權威が与えられています。

これはペテロのように午前 9 時、午後 3 時、夕方と毎日 3 回祈っている人でないとイエス様の権威がわからないと思います。神学校の卒業式に出ました、素晴らしい卒業式でした。しかし、今年の入学生は一人です。神様の御心だと言ってしまえばそれまでですが、私はそうは思いません。私を含めて神様の権威を信じていないからです。まず 3 人一組の祈りから始めましょう。

【説教:大木英雄牧師】